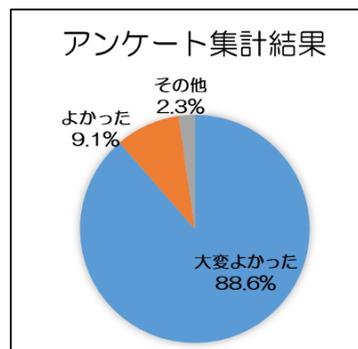


令和6年度 特別支援教育講座 特別支援教育研修会Ⅱ

目的	特別な支援を必要とする子どもの視点から保育環境を考える
日時・場所	令和6年10月11日（金）15：00～16：45 総合教育センター
対象	乳幼児教育・保育施設等職員
演題	「インクルーシブな保育で共生社会の担い手を育む ー子ども一人ひとりの いま ここ を大切にしながらー」
内容	講義
講師	独立行政法人 国立特別支援総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター 上席総括研究委員・センター長 久保山茂樹 氏

参加者（合計 45 名）			
保育所	認定こども園	幼稚園	その他
21	14	4	6



【感想】

- 一人一人を大切にこだわり、保育しているつもりだったが、多数派に合わせるように関わってしまっているところがまだあると感じた。少数派に合わせた遊び、保育をやっていきたいと思った。
- 皆が同じではなくてもいいこと、気になる子どもでもその子の持っている力、魅力があるので、それをどれだけ豊かに出来るかということ大切にしたいと思いました。気になる子どもが少しでも楽しいと思える保育をしていきたいです。
- 特別支援と聞くと、子どものできない部分を周りが援助し、少しずつできるようにしていくというイメージがついてしまっていました。ですが、今日の講座を聞いて、出来ない所に目を向けるのではなく、出来ているところを、いかに輝かすことができるかが大事なのかということが分かりました。

